

AMU-185 シンプルクロッシェ



デザイン/松井みゆき

☆でき上がり寸法 頭まわり約56.5cm。

<2013S/S>

☆使用糸 エコアンダリヤ (40g玉巻)

この作品はテキスト2枚です(2-1)

| ① | ② | ③ | 使用量 |
|--------------|--------------|--------------|------|
| ナチュラル(No.42) | ブラウン(No.159) | シルバー(No.174) | 2.9玉 |

☆副資材
 ・ハマナカテクノロート(形状保持材)(H204-593).....890cm
 ・ハマナカ熱収縮チューブ(H204-605).....5cm

☆使用針
 ハマナカアミアミかぎ針(金属製)6/0号[税込336円]、
 毛糸とじ針(H250-706)6本1組[税込357円]。

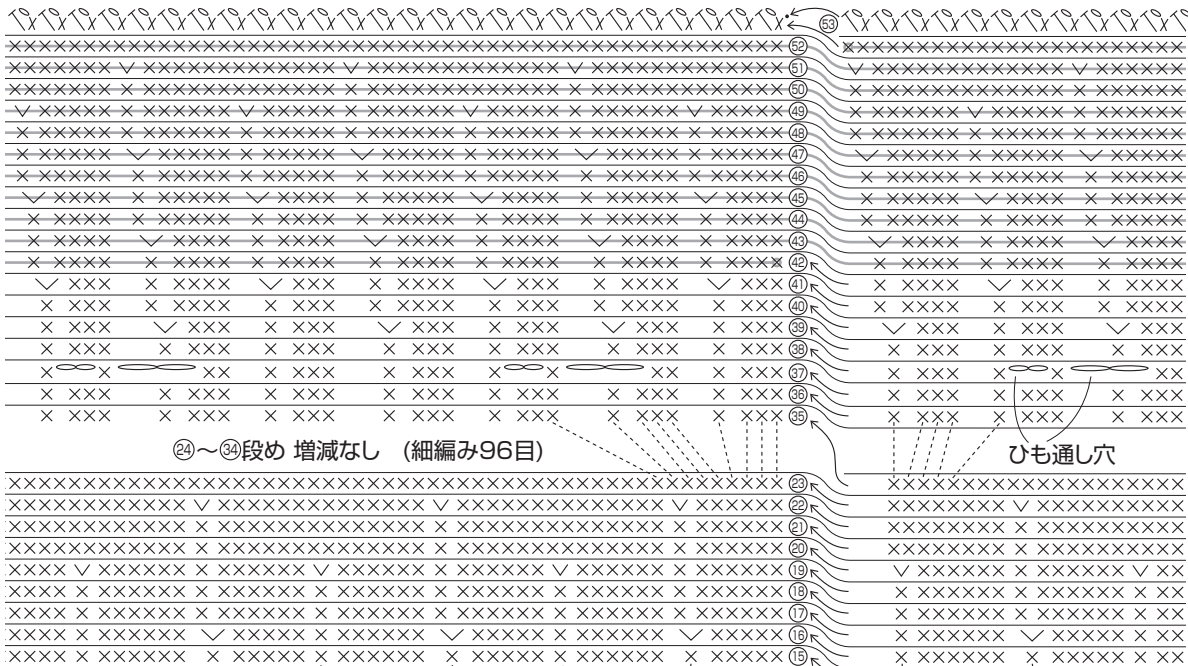
ゲージ

細編み
 17目21段が
 10cm角。

<編み方>

糸は1本どりで、本体はわの作り目で編み始め、立ち上がりなしのぐるぐる編みで図のように編みます。
 ③段めでひも通し穴を6ヶ所作り、④②~⑥②段めはテクノロートを編みくるみながら編みます。
 飾りひもを編み、ひも通し穴に二重に通して仕上げます。

本体 (1枚)



②④~⑥②段め 増減なし (細編み96目)

ひも通し穴

ブリム

ブリム

クラウン

トップ

| 段 | 目数 | 増減 |
|----|----------------|-------|
| ⑥③ | 90模様 | ※図参照 |
| ⑥② | 180目 | 増減なし |
| ⑥① | 180目 | 12目増 |
| ⑥① | 168目 | 増減なし |
| ④⑨ | 168目 | 12目増 |
| ④⑧ | 156目 | 増減なし |
| ④⑦ | 156目 | 12目増 |
| ④⑥ | 144目 | 増減なし |
| ④⑤ | 144目 | 12目増 |
| ④④ | 132目 | 増減なし |
| ④③ | 132目 | 12目増 |
| ④② | 120目 | 増減なし |
| ④① | 120目 | 12目増 |
| ④① | 108目 | 増減なし |
| ③⑨ | 108目 | 12目増 |
| ③⑧ | 96目 | 増減なし |
| ③⑦ | 96目 | 6目増 |
| ③⑥ | 90目 | 増減なし |
| ③⑤ | 90目 | 6目増 |
| ③④ | 84目 | 増減なし |
| ③③ | 84目 | 6目増 |
| ③② | 78目 | 増減なし |
| ③① | 78目 | 6目増 |
| ③① | 72目 | 増減なし |
| ③① | 72目 | 毎段6目増 |
| ③① | 66目 | |
| ③① | 60目 | |
| ③① | 54目 | |
| ③① | 48目 | |
| ③① | 42目 | |
| ③① | 36目 | トップ |
| ③① | 30目 | |
| ③① | 24目 | |
| ③① | 18目 | |
| ③① | 12目 | |
| ① | わの中に細編み6目編み入れる | |

※スペースの都合上、
 ⑤段め以降は編み図を
 省略しております

飾りひも (1本)

約160c(鎖300目)

※鎖は束に拾う

× = 細編み

√ = 細編み2目編み入れる

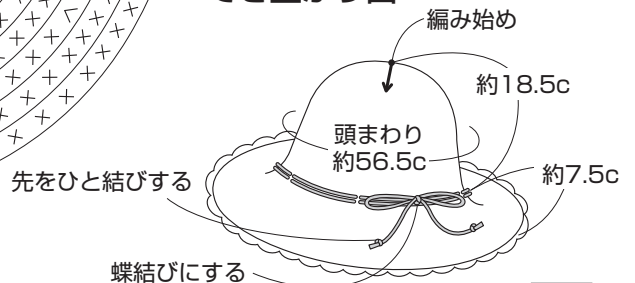
└ = 中長編み

— = テクノロート

※熱収縮チューブを使用した場合の
 テクノロートの編み始め(—○)と
 編み終わり(○—)

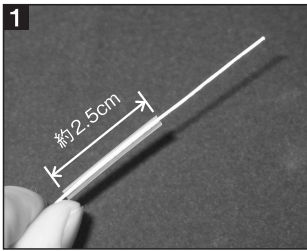
トップ クラウン

でき上がり図

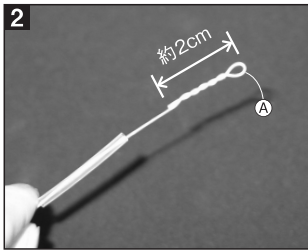


蝶結びにする

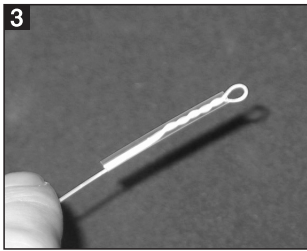
AMU-185 テクノロートの編みくろみ始めと終わりの始末



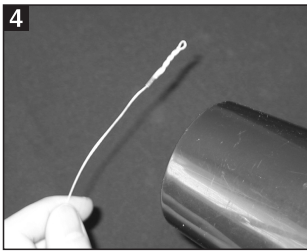
1
あらかじめテクノロートにチューブを通しておきます。
※チューブは約2.5cmにカットします。



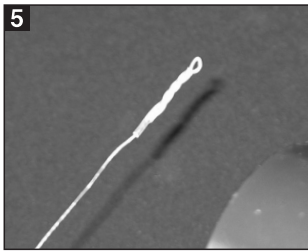
2
テクノロートの端から 2cm前後のところで折り曲げ、数回ねじります。この時ねじった輪(A)は、かぎ針の頭が入る程度の大きさにしておきます。



3
テクノロートをねじって作った輪の手前まで、チューブをずらしします。



4
ドライヤーでチューブ全体を加熱し、収縮させます。
※チューブが収縮しない場合は、さらにドライヤーを近づけてください。



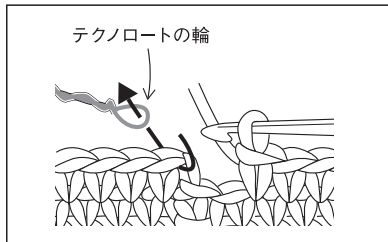
5
テクノロートをねじって作った輪の手前まで、チューブをずらしします。

ドライヤーをあてる時の注意

- (1) 加熱時間は1分程度が目安ですが、ドライヤーの温度により、多少異なります。
- (2) チューブが収縮しない場合は、ドライヤーを近づけてください。(近づけすぎにご注意ください)
- (3) ドライヤーを長時間あてたり、近づけすぎると、チューブだけでなくテクノロートも溶けてしまう可能性がありますので、様子を見ながらあてるようにしてください。

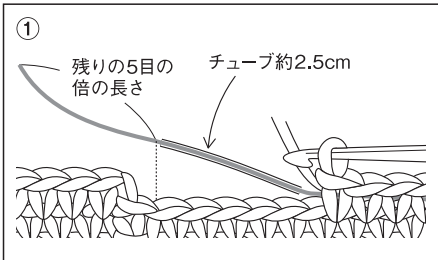
※熱収縮チューブが折れても、品質上問題はありません。

〈テクノロート編みくろみ始め〉

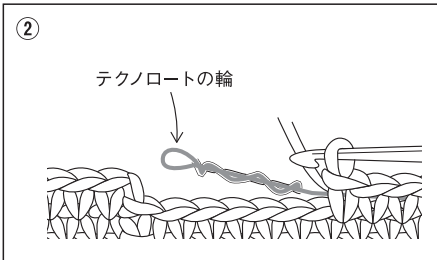


テクノロートを編みくろみ始める段は、段の編み始めの目とテクノロートの輪に針を入れて、編み始めます。

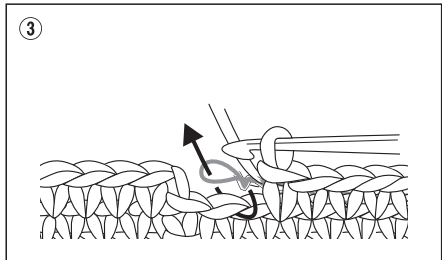
〈テクノロート編みくろみ終わりの始末〉



1
編み終わりの5目ほど手前まで編んだら、帽子の形をざっと整えて、テクノロートのカットする長さを測り、カットします。(※残りの5目の倍の長さ) この時点でチューブ約2.5cmを通します。



2
上記の2〜5を参照し、チューブを収縮させて、テクノロートの輪を作ります。



3
前段の最終目とテクノロートの輪に針を入れて段の最後の細編みを編みます。編み始めの目に引き抜き(又はチェーンつなぎ)をして、糸端の始末をします。